

### 令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	感染症対応避難所設置・運営訓練等事業
事業主体 (連絡先)	岡谷市 岡谷市幸町8番1号 Tel 0266-23-4811
事業区分	(4) 安全・安心な地域づくり (1) 地域協働の推進
事業タイプ	ソフト
総事業費	975,357円 (うち支援金: 780,000円)

#### 事業内容

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、災害発生時に感染症対策を講じた避難所開設が可能となるよう感染症対応避難所設置・運営説明会の開催など対策を実施した。これにより、各区自主防災組織により即応できる体制を確立するとともに、地域における互助・共助の醸成を促し、地域防災力の向上を図った。

また、平成18年7月豪雨災害及び令和3年8月大雨災害などのパネル展を開催し、災害の教訓を伝承することで市民一人ひとりの自助意識の高揚及び災害から逃げ遅れを出さない地域づくりを推進した。

- ・感染症対応避難所設置・運営説明会 6月13日
- ・岡谷市防災の日事業 7月19日 パネル展他
- ・防災とボランティアパーク 1月19日 パネル展他

#### 事業効果

- ① 感染症対応避難所設置・運営説明会では、各区自主防災組織等を対象に開催し、住民等のスムーズな避難へとつながる互助、共助の考えが高まるとともに、地域における防災力・減災力の向上が図られた。
- ② パネル展などを通じて、災害の記憶を風化させず、市民の防災・減災意識のさらなる高揚を図ることができた。
- ③ 災害発生時に新型コロナウイルス感染症に配慮した避難所の迅速な運営が可能となった。

#### 今後の取り組み

- ・本年度当初予定していた防災訓練は、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策のため、中止としたが、来年度以降も、防災訓練に取り入れて継続実施とする。
- ・災害パネル展など啓発事業は多くの住民の目に留まるように開催場所等の工夫をする。
- ・これまでの災害の経験から得た教訓と知職の継承に努めより一層の防災・減災意識啓発に取り組む。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



写真：岡谷市民新聞社提供

#### 【感染症に対応した避難所設置】

#### 【目標・ねらい】

- ①地域及び地域間における防災力・減災力の強化充実
- ②住民の防災・減災意識の高揚による自助力の向上
- ③感染症対策

#### ※自己評価【 B 】

#### 【理由】

感染予防対策のため、中止した事業もあったが、工夫する中で事業を展開し、地域防災力の向上を推進することができた。